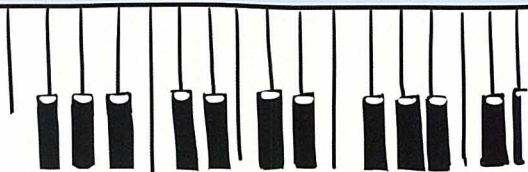
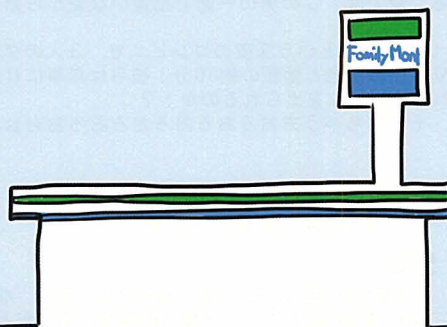


あんび、れんす!!

amVIVAlence【名詞】「1. 同一対象に対し、矛盾する感情を同時に抱いている状態。2. 相反する感情の交錯。3. 劇団ミラ・ビバ!!によるambivalenceな公演。」



劇団ミラ・ビバ!!短編公演

2012年3月17日(土)17:30 • 3月18日(日)13:30 / 能-BOX / 脚本・演出・作曲: 村岡哲至



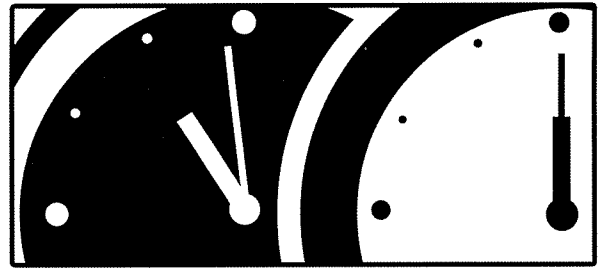
劇団ミラ・ビバ!!短編公演

あんビ、バれんす!!

ambivalence【名詞】「1. 同一対象に対し、矛盾する感情を同時に抱いている状態。
2. 相反する感情の交錯。」

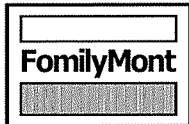
今回上演する2つの音楽劇は、内容も演技も正反対の性質を持ち、一つの企画内で矛盾する感情を同時に抱ける作品となっています。

音楽劇団ミラ・ビバ!!(MIRA・VIVA!!)ならではの「あんビバれんす!!」(amVIVA-lence!!)。6人の相反する感情が交錯する劇空間をお楽しみください。



3月17日(土)17:30~18日(日)13:30~

開場は開演の30分前



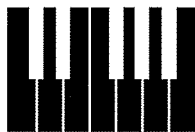
『深夜のコンビニ、そろそろ0時』

「タンタンタンタンタンタン タンタンタンタンタン♪」
某コンビニの入店音と共に、自動ドアをくぐり一人の男が入ってくる。全ては、この男の一途で勘違いな愛から始まった!?

0時にさしかかろうという深夜のコンビニで、3人のダメ人間が繰り広げる喧騒と弛緩の約30分!彼らは無事に0時を迎えられ、コンビニを出られるのか!?

「いや、それ出ちゃう方おるおるおるおるおるおるおるおるおるおる!」

出演：篠田湖乃美 菅原夢 /山澤和幸



『10:59』

暗い中、車の音や人の話し声、靴音。雨音も聞こえる。なぜかよく聞こえるひぐらしの声。ふと周りの空気が飛んだと思った瞬間、あたりを切り裂く一つの「音」。遠くから聞こえる何かのサイレン。だんだん滲みかすんでいく。

無音。

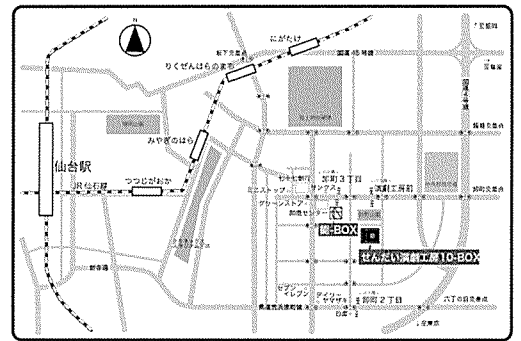
ピアノと左手と傘をめぐる静寂と沈痛の約30分。

「今日も、晴れた。」

出演：齋藤涼平 布施しのぶ 村岡哲至

せんだい演劇工房10-BOX別館「能-BOX」

〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町2-15-6



駐車場の数が限られておりますので、ご来場の際はなるべく交通機関をご利用ください。

○バスでお越しの方

仙台駅バスターミナル4番から約25分/仙台市営バス「卸町三丁目」下車/志波町・卸売市場経由 東部工場団地行/志波町・卸売市場経由 霞の目営業所行

□ スタッフ

脚本・演出・作曲：村岡哲至

舞台監督：齋藤涼平 菅原夢

制作：篠田湖乃美 布施しのぶ

音響：村上卓弥

照明：山澤和幸 小澤恵里奈（東北大学学友会演劇部）

宣伝美術：フェブリアニ・シホンピング

美術：齋藤涼平 菅原夢 村岡哲至

衣装：布施しのぶ

□ チケット

前売り/当日 800円/1300円

□ ご予約・お問い合わせ

Tel : 090-5572-4951 (制作：布施)

Mail : miraviva@gmail.com (劇団ミラ・ビバ!!MAIL)

HP : <http://miraviva.jugem.jp/>

□ 主催

劇団ミラ・ビバ!!

